



南紀旅行のおもいで（一口コメント） 2013年晩秋 高野山～熊野古道～那智の滝～伊勢神宮

好奇心旺盛な仲間が21名参集。男どもはバス後部のサロンシートに。早速ビール片手に人生哲学の放談。やがて玉龍男子に戻り、哲学のレベルはダウン。木場君が一手にこの旅行の計画を詰め、プロ真っ青の気配りと名ガイド振りを発揮して、笑いの絶えない内容の濃い旅を楽しむことが出来ました。あいがとしゃげました。

《 崎元 雄厚 》



バスの中は花が咲く

24歳の時一度来た南紀。50年振りの旅行でしたが、若い時と違って、又、八期の皆さんと一緒ということで感慨深く、旅の感動もひとしおでした。人生の思い出のページがまたひとつ増えました。企画実行された幹事に感謝！

《 有馬 博文 》

晴天に恵まれて楽しい旅行でした。散策の折にいろいろと素晴らしい知識を教えてください、体力と知力を少し開拓させてもらった楽しい旅でした。

《 横山 摩子 》



バス運転手さんは名ガイドでもありました。

この3日間楽しかったです。ただ、忙しすぎました。もっとゆっくりした旅がしたかったです。

《 古里 洋津 》

上々の天気の中、団体旅行じゃないと出来ない旅をバスの運転手さんの好意もあり、見られない所も見たりして、楽しい同期会ツアーでした！

《 堀田 昌子 》



崎元博士の説明に盛り上がる女生徒たち？

私にとって、旧友の気配を近くに感じ、とても幸せな日々でした。幹事の方々には甘えっぱなしの旅でした。感謝します。足取り軽く？家路につきます。

《 丸野 輝子 》

またまたどんくさい話です。ホテルで万歩計を失くしました。お風呂、部屋内捜したけど出て来ません。ホテルからの吉報待っています。八期の皆さん、いつもお世話になります。楽しかった。これからも見捨てないでね！

《 上田 健治 》

平凡退屈な日々を抜け出し、50年前に戻って、大いにリフレッシュ出来ました。ありがとう！

《 稲森 俊英 》

遷宮なった伊勢神宮、熊野三山、高野山という日本のいにしえを訪ねる旅行で深山、滝、山道など歳を忘れて楽しみました。またいつの日かこういう旅をしたいと思いながらこの地を後にします。八期会万歳！皆さんありがとう。

《 隈元 達雄 》



遷宮となった内宮に行く旗頭

最近、体力に自信がなく少し心配でしたが、楽しい旅行が出来ました。特に那智山は初めてで、滝の近く迄行くことができ、思い残すことはありません。伊勢神宮では、世界に誉れる建造物である白木造りの内宮をしっかりとこの目で見る事が出来幸せでした。次回のツアーで又お会い出来ることを楽しみにしています。

《 大畑 寛子 》



ここは熊野古道ですか？

アメリカ、韓国、台湾も八期会がなければ訪れることもなかったかと思えます。いつもきちんと準備して下さる方々のおかげで楽しい時を過ごさせて戴いています。伊勢は若い頃に行ったことはありましたが、仲間と訪れるのはまた良いものでした。お天気に恵まれて幸せでしたね。

《 吉田 節 》

関西幹事の木場さん、本当にご苦労さまでした。お陰様で楽しい旅を過ごすことが出来ました。これからもよろしく願います。

《 森 繁 》



おかげ横町のお目当ては？赤福で一。

高野山、那智大社、どちらも初めてだったので良かったです。特に那智滝では虹が出て、私達玉龍八期会を祝福してくれているようでした。目的の伊勢神宮は、出来たら神宮内のホテルに泊って、半日ぐらいゆっくりしたかったです。でも中身の濃いものになりました。

《 平澤 希代子 》

2泊3日の旅行日程ではあったが、幸い天候に恵まれ、満足している。運転手さんの配慮で、予定外の熊野本宮大社、熊野連王大社も観ることが出来、良い思い出を作ることができた。高野山の紅葉、天徳院の精進料理も印象に残った。

《 木場 祥雄 》



二見が浦にカラスを観た。

旅とは何でしょう。哲学的に(ワハハ)言うとな「人生の途中下車」。今から精々元気でいて、20回行けるでしょうか。何と云っても旅は連れ次第ですね。昔から『旅は道連れ世は情け』といひますよね。「情け」って「老後は助け合っていこう」という意味だそうですね。

《 柴田 英紀 》

歴史、古代史に興味があるから今度のような旅はわくわくしますね。みんなで身にまとわりついた「後悔」や「蟠り」を熊野大社や伊勢神宮の神様にお払いして貰い、清い身体で帰りましょう。いつもの「人生本線に」。

《 小森 芳雄 》

長男がシンガポールに住んでいるので旅は結構多いけど、同窓会旅行はまた違う。久し振りに高校時代に戻ったようで、忘れない日々でした。

《 田端 剛 》

旅は「笑い」を呼び戻す良薬ですね。「懺悔の旅」いや(巡礼の旅)かな。その旅は果てしなく続きます。冥土まで。

《 大石 慶二 》



まだまだ若いみなさんですよ。